近畿地方整備局

資料配付

配布日時

平成22年9月1日 14時00分

件 名

「平成22年度 道路交通センサス」を実施

~ 自動車の利用実態等に関する調査~

国土交通省では、都道府県、政令指定市、高速道路会社などと連携 して、平成22年9月から11月にかけて、全国で自動車の使われ方 や道路交通状況を調べる「道路交通センサス」(全国道路・街路交通 情勢調査)を実施いたします。

概 要

道路交通センサスの調査結果は、将来の道路交通計画を策定するう えでの重要な資料となるものです。

調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願 いいたします。

詳細につきましては、以下のホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/road/h22census/

取 扱 しし

配 布 場 所 | 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

近畿地方整備局 道路部

問合せ先

道路計画第二課 課長 横谷 利昭(内線 4251)

課長補佐 徳田 尚器(内線 4252)

電話 06-6942-1141(代表) 06-6945-7420(夜間)

「平成 22 年度 道路交通センサス」の概要

調査の概要

道路交通センサスは、いわば道路に関する国勢調査として、昭和3年度の全国交通調査に端を発し、昭和55年度以降は概ね5年に1度、日本全国の道路と道路交通の実態を把握し、道路の計画や、建設、管理などについての基礎資料を得ることを目的として、全国的に実施している統計調査です。

道路交通センサスのうち、自動車起終点(OD)調査については、無作為に選定させて頂いた全国約180万人の自動車をお持ちの方々・事業者のみなさまに対するアンケート調査を実施します。

OD 調査: O は出発地(Origin)、D は目的地(Destination)の略であり、自動車がどこからどこまで移動しているのかを調べる調査を意味します。

調査結果の活用

道路交通センサスの調査結果は、現在の交通状況の把握や、道路の計画等に用いられるだけではなく、事業評価・政策評価などにも活用されます。

調査の効率化への取り組み

平成 22 年度の調査では、前回(平成 17年度)までの道路交通センサスと比較し、次のような改善に取り組んでいます。

- ・回答者の負担等を軽減するため、調査項目を絞り込んだ簡易調査票を導入します。 調査にご協力頂く国民の皆さまの負担等を軽減するため、自家用車に関する調 査については、前回の平成 17 年度調査までは 1 種類の調査票を用いてきました が、調査結果の利用目的に応じ、従来と同様の調査項目で行う調査票と、調査項 目を必要最小限に絞り込んだ調査票の 2 種類を使用します。
- ・調査を効率的に実施するため、郵送調査を導入します。

オートロックマンションの増加等により、従来の訪問・留置方式の調査では被験者の方々を訪問することが難しくなっていることから、自家用車に関する調査については、主に大都市部において、郵送調査を導入します。また、営業用車に関する調査については全国で郵送方式の調査を実施します。

快適な道路利用のための調査です。







センサスの語源は古代エジプトや中 国等で行われた人口調査の事で、現代 では転じて国勢調査や全数調査の意 味に使われています。

車の利用の状況を

自動車起終点調査 (OD調査)

般交通量調査

オーナーインタビューOD調査

車の所有者や使用者に対し、ある1日の車の利用 状況についてアンケートで調査します。

無作為に選定させて頂いた所有者のお宅に 調査員が訪問して調査票を お渡しする他、郵送にて調査を お願いする地域もあります。

また高速道路をご利用の方には 11月にインターネット調査を行います。 http://www.highway-r.jp

出発地・出発時刻 車種・目的 区間距離など





○月○日にどのように

出発地・出発時刻 積載品目・積載重量 目的地など

国土交通省 近畿地方整備局

福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・京都市・大阪市・堺市・神戸市 西日本高速道路(株)関西支社・中日本高速道路(株)名古屋支社、金沢支社 阪神高速道路(株)·本州四国連絡高速道路(株)